





利 5
門 2154
2

詣詣其傘卷之中

伴勢の神

一名天照神

一非名不

内外の官一とある一各わ去

伴覺幽一いせ鷹い之鶴いせ鷺

いせ鷹伴勢ちいせ鷹所

かくれかづちとつりくしり

は格といく六十ちうまと准一

かくし

河内主一 伴覺の神

加奈の神院 いつとく神主の主

こづくいせにとハ行のえひき

かくれかくへあうと川のあ行

各神主といつとくのり。神主

とか神主といつとくのり。神主

又一つもくし

禪^{チヤン}齊^{セイ}一^{シテ}水^{ミツ}渓^キ 精^{セイ}と^トり

上

音^{イフ}機^{ハタツ}一^{シテ}の^{モニ}二^シ 百^{モニ}三^シ ち
妹^{イシロ}一^{シテ}泳^{ヨリ}一^{シテ} 一^{モニ}一^{モニ}一^{モニ}一^{モニ}
張^{イハラ}一^{シテ}花^{カナ}と^{シテ}石^{イシ}一^{モニ}
い^シと^{シテ}川^{カワ}一^{シテ}と^{シテ}氣^エ一^{モニ}

ぬは^{ヌハ}細^{スジ}流^フ出^ル生^ルと^云

い^シと^{シテ}一^{シテ}原^{ハラ}面^{マツコ}取^ル取^ル七^{シナ}
鶴^{ハク}仰^{アゲ}一^{シテ}悠^{ヨウ}然^{ゼン}一^{シテ}溶^{ヨウ}解^{ケル}一^{シテ}釋^{シテ}

樂^{ヨク}吹^ブ草^{スズクナ}ハ面

醫^{イヒ}一^{シテ}身^{シム}一^{シテ}典^{タク}一^{シテ}故^{コト}蔬^{スル}一

皆^カ一^{シテ}醫^{イヒ}王^ウ山^{サン}面^{マツコ}

生^{シキ}一^{シテ}生^{シキ}一^{シテ}狀^{シマツ}一^{シテ}生^{シキ}一^{シテ}生^{シキ}一^{シテ}
余^モ二^モ蘆^ハ一^{シテ}蘆^ハ二^モ蘆^ハ二^モ

余^モ二^モ蘆^ハ一^{シテ}蘆^ハ二^モ蘆^ハ二^モ

第^モ二^モ首^モ蘆^ハ二^モ蘆^ハ二^モ

古^モ代^モ古^モ今^モ古^モ今^モ古^モ今^モ

折^{ハサウエ}佛^{ハサウエ}非^{ハサウエ}立^{ハサウエ}

海^{ハサウエ}巖^{ハサウエ}黑^{ハサウエ}石^{ハサウエ}

黑^{ハサウエ}巖^{ハサウエ}黑^{ハサウエ}石^{ハサウエ}

石^{ハサウエ}二^モ名^モと^{シテ}二^モ名^モ和^{ハサウエ}面^{マツコ}

セキト音^{ハサウエ}に^{シテ}ハ^{シテ}雲^{ハサウエ}二^モ名^モ

砂利^{ハサウエ}砂^{ハサウエ}利^{ハサウエ}石^{ハサウエ}居^{ハサウエ}

根^{ハサウエ}の^{シテ}二^モ名^モと^{シテ}云^{ハサウエ}は^{シテ}二^モ名^モ

礎^{ハサウエ}一^モ石^{ハサウエ}黑^{ハサウエ}五^モ名^モ

木^{ハサウエ}一^モ名^モ沙^{ハサウエ}通^{ハサウエ}水^{ハサウエ}

木^{ハサウエ}黑^{ハサウエ}三^モ名^モ

孫 只ニ名而ニ水邊

孫家つじ一そくつじ一そくはも一
池 只ニ名而ニ水邊

池とと池と云自分よと云とほと云
代 只ニ花代一水邊

馬等の馬ね良駒と駒

放生 非然之八月十五日水邊

放生川馬西ノ非生

泉 一巻之水邊之水の和泉

音泉

各水水

家 四ノ居下ノ器物の家之白鶴羽
修家如家之三ノ屋宿寓ホ三

家とある非居尺敷ノ家之

家とあると云れ居家之行

家一非居家之面あの風居越波

あとの子一非居家之面

板 一板戸一板目一板金一板底一板

軍 只一花軍一合戰一軍法一將

市 只ニ名而ニ花軍

文字 さる去訓音ノテ五句

草 編 独木三句

○ 教字の示之委

入相一夕物も之達打へた時ニ

電

一 電一 電天夜雷面

光のま立ち稻不原

稻書一秋之もかに稻素ニ

非天極電わ雷不原

稻一秋之稻ふ一稻延一至稻二

物語ノシテシテ

稻原多秋 漢語一
鶴一難^{ハシ}、鶴玄一、鶴川一、製鶴

漢一、參^{ハシ}水邊 大汗^{ハサ}アサヒ不^{ハサヒ}
鳥不暖

芋一、芋虫一、芋茎一、山^{ハシ}秋^{ハサヒ}行
薑^{ハシ}薑一、雲^{ハシ}

大一、大子一、大張子^{ハシ}一、名の不^{ハシ}
大作一、勞^{ハシ}成面

乾一、方角にて^{ハシ}成^{ハシ}す今に
日立^{ハシ}ハ^{ハシ}ス^{ハシ}ム^{ハシ}

版一、版桂^{ハシ}ホニ、食一、^{ハシ}ハ^{ハシ}面
承^{ハシ}ム^{ハシ}西^{ハシ}、^{ハシ}ハ^{ハシ}面
糸竹一、糸^{ハシ}面竹^{ハシ}、^{ハシ}ハ^{ハシ}面
。琴笛^{ハシ}面^{ハシ}、^{ハシ}ハ^{ハシ}面^{ハシ}、^{ハシ}ハ^{ハシ}面^{ハシ}

いモ一、^{ハシ}セ一、^{ハシ}ヒ^{ハシ}一、^{ハシ}お

。素高^{ハシ}也^{ハシ}房^{ハシ}ホニ、^{ハシ}面^{ハシ}去

縣一、生^{ハシ}死^{ハシ}三、名の息^{ハシ}一、^{ハシ}訓音^{ハシ}、^{ハシ}面

痛一、心一、病一、^{ハシ}患^{ハシ}一、^{ハシ}驚^{ハシ}一、^{ハシ}生^{ハシ}死^{ハシ}二

承^{ハシ}ム^{ハシ}西^{ハシ}、^{ハシ}ハ^{ハシ}面^{ハシ}

櫻^{ハシ}、^{ハシ}葉^{ハシ}、^{ハシ}春^{ハシ}、^{ハシ}花^{ハシ}、^{ハシ}夏^{ハシ}
梅^{ハシ}、^{ハシ}冬^{ハシ}、^{ハシ}秋^{ハシ}、^{ハシ}枯^{ハシ}、^{ハシ}冬^{ハシ}、^{ハシ}枯^{ハシ}、^{ハシ}冬^{ハシ}

蘋^{ハシ}、^{ハシ}一、^{ハシ}生^{ハシ}死^{ハシ}、^{ハシ}年^{ハシ}、^{ハシ}方^{ハシ}

謝^{ハシ}、^{ハシ}一、^{ハシ}生^{ハシ}死^{ハシ}、^{ハシ}年^{ハシ}、^{ハシ}方^{ハシ}

薪^{ハシ}、^{ハシ}一、^{ハシ}生^{ハシ}死^{ハシ}、^{ハシ}年^{ハシ}、^{ハシ}方^{ハシ}

家^{ハシ}、^{ハシ}一、^{ハシ}生^{ハシ}死^{ハシ}、^{ハシ}年^{ハシ}、^{ハシ}方^{ハシ}

馬^{ハシ}、^{ハシ}一、^{ハシ}生^{ハシ}死^{ハシ}、^{ハシ}年^{ハシ}、^{ハシ}方^{ハシ}

衣裳のえぬま本 ともひるを季

ハナウラ種のあはれに秋式

楊葉 柳のきぬ ほし衣

うづみ非生 ぬまうき やまとき

絶紋

もく紋

冬向ひ

○ 亂正花より斗春季そと極め
二る是意のを一かゆ古ニテの
津よよけ心花ハ松よりくじ
きく四葉裁面

やー二三句去

色 宿毛山桔原田あど

て秋事とねせうきの字只ニ
紅朱丹赤青綿あぐふと
不付又白小くもくし紅紫ニ

今 宿毛山多けきホホ不

入 宿毛山訓音うつむハニ

合一首ニ麗タ吟ひニテ

鶴のひハ不

入月一葉らしくよす一葉よまニ

か 宿毛山訓音うつむニ

か日一日引く二るタ吟ひニ不

お月一月ハれてのこ又す

よ 宿毛山 云若日

てふ言。詞。院。おニ二句去

彩 宿毛山 仰さむいつきいふ

づくいきとひまニ甘夕姫

で二わ いと二わ 緋二わ

不知一 いざ四

井二名石ニ二邊之 井戸居ニ

玄井不始

堰堵 えん 井ニ壅ニ

元文五年

わとうの下を

臺

去の下

株一 ハシヨコ 株一 桜首一 イケヅレ 桜首一 ハシヨコ 桜首一 ハシヨコ

云株一 ハシヨコ 株一 ハシヨコ 株一 ハシヨコ 株一 ハシヨコ 株一 ハシヨコ

玄地打一 ハシヨコ 玄地打一 ハシヨコ 玄地打一 ハシヨコ 玄地打一 ハシヨコ

院一 ハシヨコ 院号一 ハシヨコ 院号一 ハシヨコ 院号一 ハシヨコ 院号一 ハシヨコ

田舎一 ハシヨコ 鄉一面 ハシヨコ 鄉一面 ハシヨコ 鄉一面 ハシヨコ 鄉一面 ハシヨコ

ゆきけ洞一 ハシヨコ 洞て來す ハシヨコ 洞て來す ハシヨコ 洞て來す ハシヨコ

居一 ハシヨコ 字去くもつどつ二居 ハシヨコ 居士 ハシヨコ 不居



麻草一難 ハシヨコ 麻草一甚 ハシヨコ 麻草一甚 ハシヨコ 麻草一甚 ハシヨコ

麻れ角面一至腐の麻草一難

西去へ一

贈一舟ニカ

轍軒一車不姫

緑轍一青三弓 さうの弓二弓

駄馬一うきよ一弓

櫛一居至たうとの弓

炉一居至冬之香炉一炉

炉一居至冬之香炉一炉

炉一居至冬之香炉一炉

滑一浦義一お浦一弓ケシ弓面

春ちあの海波水丸の去

翁居一ひそよと年翁一翁翁に勝

翁不經後序一獻牢浪ホウリヤウ 翁

うう翁自らの弓アキラハ一翁

六八

孫一年号一西人の名又云一

は

花 正花非正化死の郊より一
林 一林と林山一林の名一各名を
報へり去

林 一名の林ニ極也ニ誠と經
春 李ト字ト立る去春の漆一非水
墓 にニ墓の内一内

墓の日ニ無日一 か日一

無日 水日 わ 墓の日ハ西

墓の主 东宮れりと非神 非人
非居 墓之主と云とされハ非主
墓 一音一塚ニ昧而名而の墓

一里塚界

墓 重きの墓曲 名の木れ木ニ西
。木の墓とく西 云の墓ニ西

。墓の木ふとく西 木の木ふ竹の木
とくとくハニシ

松竹の為木が雜々と云ハ木散蔓
。柳柳柳柳の散枝ノ為木半
木の木とす木と

。色病亨虫丁絶ハ秋
ヘ多モ津 雜々極物ハ非津

萩 一秋之極物ノ名ニ一秋歟一
萩のア_秋各名去 萩名ハ麻叶喜

萩、之極也不甘

芭蕉 一芭葵奏志芭一玉巻芭蕉_芭
芭布_{雜面}

蓮 一蓮之名過ニ事ニ有木生
實の名ハ秋 莲假秋不根茎

方言考略

卷之二

蓮根 蓮之

荷 ハス

藕 ハス

根 ハス

莖 ハス

蓮

花 ハス

荷 ハス

水 ハス

菱 ハス

蓮と鶴は尺に雜く非極水志

也向とよし

演一演庇一演蔽一多布ニ皆引
烟一烟引云烟燒一引引

端

くす

四

くす

ハ

トハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

寺の宿坊一尺坊主一尺坐り

有馬の宿一居茶坊主非人尺

けれうて又一人の名ニ一名而

楊只ニ魚和ニ楊只四

くす

くす

くす

くす

くす

くす

くす

天のは楊 義の傍楊西

楊姫一名也もあて非人非楊

楊

肌一音ニ一膚一絹布ニ双わ

楊木ニ各うつて西雲

肌の第一非良ニ良ニ夜ニ混一勝布

勝

下級ハ毛ニ五臓ニ上膚の下の筋と

下級ニ下級ニ筋ニ下級ニ下級ニ

腰一腰毛一腰筋一腰毛一音一

腰

同胞一非人兄ニ妹ニ妹ニ四ども

兄弟と曰くハシ云

鼻一音一鼻毛一鼻血一各毛

生氣の鼻ニ鼻絞一済 ハラタク 鼻氣

齒一牙一生氣の歯一仰歎一四毛

孕一毫穢一生涯一姪女一西
村一之孫一名龜一羽第一矢也
翹一毛子一毛角一毛川一毛也
ツバサ翼ハ西

鳩一鳩の枝一鳩徇一鳩の暁一

鳩吹一各也

蠅一さゞかね牛一わ蠅人足蠅也
蜂一蜂窠一巣一わ巣一毛之

蛤一難之蛤也ハ毛毛貝覆一

葉貝不セラ

泊然一非山水寺ハ山也

箱一久の箱一物

指一久の指一天敵一わ指也

蘇松也

篇一彗星一西 苦菜一莧之西

糸一糸ギ一圓のぬい糸一糸也
たて糸一綱一糸も一糸也
機一鍛鐵也西 乃のとくをす西
旗一旗雲一法の幡一わ旗也

著一香著一魚著一ふくろうす
篋六西 そゝ簷西 篋も篋も
詮也アホニ

判只一判取連判の内一わも

此判係判事と判ホ判ミも

仄一久の仄一ちかくわ

仄汁白仄ホセラ

器の多仰望也ホ西

辨一法ノ具領辨也ホとは辨也

番通一大ニ一 大工童一わ

二方八里一二の字の方の字方里の字方

字方を字方へる

人於一本偶一ひとゑーれ

肉一モー一シムテーれ

錦車天馬たまよ御車御戸帳の錦

ニシキジム

イシキ

の役車と織と云薄けり車西

綿多一雜之様へ一れ

嵯峨一嵯川の付字三る

脊鶴一セモキハ一セモキ歎モ一

和琴一和琴一琴の歎モ七夕

座の主琴一座の琴、わ狹く

二王一王と二の字方西皇の王ミカれ
右金劍石金劍と云仁の字不短
綿一音一綿本一立綿も一各
乞幻多氣りうど短

匂一匂りふ一本一束一れ

香薰真カガ

也也熏面

縲膠一膠カガ一れ

西一音一西行ふの有字一ら

東西南小准ス

庭二居二ら音二折禁也

キサカ也社也とハ非居

庭場二ら

也場西也の字へたの字面

市軍法鞠のあく非居也鞠

也も鞠のみくハ場カタマ

潦一非居也ニ也

水ニ

紅一難也紅基一非天生聲、
澁一非也也非居也ニ也、不居

もくはまつるへり
一羅之も邊之萬之羅之

ういほくくわ

鶴 只二名一鶴名一鶴合一切
たに二名鶴名のりとくろ

八萬の多本鶴身もくとけ

神多 びひ玉多とま

鶴 鶴 鶴 鶴 非鶴

鶴印り鶴役

一鶴役之生鶴城

一か一奥多手本とむ

麦燒料理乃が阿ハ食後之物

、も多とハねのり非生非極之

一か一多と首て一か

白眼

一通眼 一缺、筋目一勞

一魚 一めをとく一魚地一鳴

病

一か一奥多手本とむ

色人 一生活 一休 一各の面

魚 一あく三弓

▲人向一此人

之字も魚もとある がえもと魚

魚也も魚 がえもと魚もと魚

時よりせき魚もと魚とせん

師も魚もとし

小魚も魚もと二る

すそぞざうじで

ほくすうじと二る

俄之四 捉之二 潤之四

卷之二

ほ

卷之二
やまと一わが漢讀本二
かく一 やまと一

かのうへ一歩
一歩歩みゆく

卷之四

音一打玉立ニ一打道
廊ノ一折上廊下一回

朗
一
和
一
物
朝
朗
三

一
名
後
一
後

總て化粧細々の爲の總て化
粧の便り

桂子一
年
秋
日
記
卷之二

ハナタマニシテ
ホノシテ
ハナタマニシテ
ホノシテ

麻上四ノ火。七の生氣不應
郭云一音一聲各一名也一
引

常氣也れ、銀月不流り
ゆく、是の事の字色ひて、春

在
舊
樂
一
行
不
可
多
時
乃
多
留
之
因
其
不
加
序

蜀魂 牡鶴
洞二ノ山の洞

緑の向 仙因のひづく

星 一クの星も一天多く来るも

星は星は星は星は星は星は

星は星は星は星は星は星は

星は星は星は星は星は星は

星は星は星は星は星は

星と唱ふ星をえりく

星は星は星は星は星は

星の林非極 星位 非天

星月夜 来むる 非月

いつのほりう 沖持ゆそハ新名跡の

時ハ水夜天

仙一音二ノ仏一打 かげ

れくす山本ひ田

。秋迦ひの紺わくこまく

法末 法眼 法燭

太乙水丸 醫経去 秋乃秋

草庵 強庵お天あく凡

法神 法師 大聲

金 金 金 秋 金 金 金 金

布袋 布袋 人 布袋 布袋 布袋

枕 枕 枕 枕 枕 枕 枕 枕

骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨

一 埃 一 埃 一 埃 一 埃

鶴 四 鶴 四 鶴 四 鶴 四

▲ 加リニ ▲ 加リニ ▲ 加リニ

歌之四 ▲ 細之四 ▲ 細之四

辯方天 一 宇賀井 一 宇天經 又有

矣ニカニ 天ニニ有

絲絰一付ニタチマノハラニ云洞白

嘔吐一とあく一吐一わ

屁一船屁一わたくそろゝ一西

卒愈一病汗ニ有卒後西

卒生一乃あれホニ有

トモ一モニニ有ト一不距

近處一居不レ生起ニ一

卒死一離一子ニ西モセウ

匂シ一昆蟲一洞の匂シ一

紅粉一赤朱丹紅粉ホニ有

紅の丸紅島ホ又わく一

紅草白

蛇一雜ヘウカハ一わ 宜モ喜

衣ウク蔓 宜入秋

編幅一かひり一打

うりきり地鐵白扇 白扇

卒家一さう二る 家のキニ有

脐一ノミの縫一奥ニ一歎ニ一

茶一わ茶ニ西

弓一べき弓く弓ノ張弓ニ有

遍繡一尺ニ編綴一尺ニ

室一室モアラウリモガニホニ有

字一字モニカモリニモカモジテ不

行一字モニ年月ハヨニナニニカ

三

東西南北は四字訓一音一はまハ

アモハサムモナシ誠モ不恥但もア

跨岭一越山秋深也一わ

袖拂ふどぶ拂ひホ西

キヤ山眉一眉、黛、わを山、もる
ちと山のかのく尼へうそ、宦だくさ

文君黛、似遠山

トドキ、墨の山野、あふへを、里、小金、三
泊八、非夜、四、三、匂、泊り、船旅、

泊、山泊り、泊、夜、皆泊夜

あが鳴、昔、一、生、れ、非、名、而

鶴の、あ、め、ど、も、セ、ゆ、ゆ、ひ、う、

宿直、物、囊、高、金、人、の、も、と、貸、の、裏、よ

か、す、く、借、石、お、宿、直、ハ、左、を、な、を

事、欲、う、う、移、し、居、の、字、二、る

戸、帳、一、音、一、意、布、き、の、す、く、

白、う、う、沐、底、た、く、

ト、本、城、一、報、ニ、刈、ハ、秋、荒、ハ、夏、音、一、お、

深、色、ニ、一、面、モ、リ、ツ、ク、の、時、ハ、本、城、三、

狂、一、鷺、天、え、る、花、絛、二、る、

科、一、音、一、こ、め、不、施、

扱、写、一、じ、く、と、拂、く、写、西、後、ス、不、施、

透、透、一、ほ、き、く、一、う、め、一、け、拂、二、る、

伽、一、非、人、ち、や、一、お、

年、四、之、通、四、と、モ、ニ、セ、い、ニ、は、故、六、

ア、そ、一、手、一、面、同、訓、ハ、わ、

年、考、非、人、レ、年、四、の、内、一、

豊、明、冬、ニ、非、夜、明、の、モ、ニ、る、

人、葦、舎、の、物、ニ、意、次、行、つ、く、二、仰、

あ、が、あ、づ、

その、山、ね、山、後、み、み、の、舞、と、舞、

殿、一、淮、安、一、夜、相、敵、町、ホ、一、湯、殿、

勝、反、ホ、一、ひ、う、お、の、夜、ハ、西、

絆、殿、佛、反、ホ、殿、他、西、冬、の、夜、三、

伴二音ニわお体ヒル
友ニモ一わサミニ面

隣一音一わも秋ホト瀧ハ西

戸ハ居ニ窓肖戸ノ宿、戸
戸戸下戸不透、古書ニ戸、
戸戸戸戸ニ去り半、秦、

の唐宮ニハこの殿寺カ海ノ、瀧
田トヨク瀧吾者カシテバ音勅と

一瀧吾者ハ渾、アテ、ア、休
上の扇の内、瀧、吾者と重ね
吾者もハトの扇の内とす、これ
もう戸戸ト戸と呼す、されど
日本一瀧、吾者唐の書よ、ア、
道音法子の物、瀧、吾者と、
吾者と大壺ニツコとは是と上壺、

あやまうづう戸、瀧、吾者

あてハ唐宮もチ、城壁も、
き池沼ハちゆ、清流七十二候、
御院あり、概より、ア、
床一音一立ニ、皆、其、ゆう、ちる

綱代床、代本、庄、原、本、
蔓、縫、床、一つ、見、各、回、

床入、本、床、ハ、床、一、向、

立、の、床、一、向、

灯一法の打一、の、打一、
打一、の、打一、

皆、物、大、ハ、面、燒、大、机、大、雷、大、

雲、大、ホ、打、七、十、
篝、炬、大、内、燒、

燭、卷、桃、灯、桃、心、蠟、燭、紙、燭、
經、聲、不、回、燭、未、

燭、付、夏、ニ、未、大、事、ニ、わ、麻、打、面、

大・ち

多六ニ多モ一ノれ 犬キニ少モ
村多面多モ多ハニテ

アシホの多ハ少也

キモカモモコモモモモ
多の多くセラタムハ多の多の声声お

啼チ音イ准ス

多冒多毛總多第トモニ多
多居鶴トリ桓カツ瓦トガ多ニ三ル鶴トリヒ

多底鷺トガタカ鳩トリホウホウ多ニ多ニ二方

酉一多ニ三ル鶴トリセラ

虎一音一宣一わ曾トモ多り多リ

一もとソレトモレ湘鷗トリウソハ際ヒ興カク多
多の如一文多キ多の如水苔トモ桂トモ多
文多玉トモハ二る多の多の多も多
苔トモ一どひ口一どひの多一深急トモ一深

雀トリ一と鳥トリ一居トモニ句

富一富室一古去春トモ多ニ多世難

其西の富ハ多ミ正月七日

訪一吊トモ不姫

トモウタラの多モハトモトモ

人トモめくトモゆトモあトモ之

豆腐トモ一麻革トモ一面豆腐皮トモ一面

字トモ之トモ内トモハ面トモね比トモ二

字トモ金トモ不源トモ君トモの下トモ回トモ

字トモ字トモ二二トモ字トモ不姫

同字トモ字トモ二二トモ字トモ不姫

外字トモ一▲丸字トモ一▲丸字トモ一

田トモ二ニ音ニニ

阡 道の南北と曰阡

陌 東西と曰陌市中ノ街と千街云

岐 道路二道と曰岐旁

街

四通之路と云十字路曰四通之

道

首から一音ニ一わ道路二も

地

乾坤の心ニ素具の大心也

天

天地トがくらよあめつち物

地

絹紙被恥謔ホの地テ四乃

乾

坤の地ニシカ去

町

一枝町一ノ河ニ望ニ西れまし西

亭

一テイ一アハラマ一義徳一望四乃

地震

一地ニカエルフルセキ

畜生

一リヨシニシカ外ノ生長ニシカ

地獄

一尺ニ地獄ニ斯

陳

一陳大敵一わ西陳屯の内一

分

分岐也

千

千ノ字四音四訓音ソシテ面去

千劍振

振云 漢振トム云ハ

千入

千入ニ乞ニ白

千

千モ一色ニ水ニシテ不溶テテニテ

千鈞

不鉅 漢ニアガル事也ト

千種

句ナリ 非極千里非居

千葉

葉一葉之葉承トモカシモ難く

千葉

葉花ニシカ葉ニ花ニシカ

千葉

葉の輪葉ニシカ葉也ニ葉宣也

千葉

葉也

千葉

葉一夏之葉ニシカ葉卷叶

千葉

葉生根也葉子也葉宣也

元文本中

十九

ちまきこゑの様にわねるハ茶を

茶一玉茶一枝茶一茶盒一茶包

入り茶深ハ面茶摘茶葉

タマホ茶新茶古茶葉

茶の花ハ茶

塵一ちうの世一石具一塵紙一ちうれ

キト音にてハ面

紫の巻とハヨシビの半くまく面

長老一尺シナシニ不姪

兒一子ニセウ児文殊わ児麁達セラ

ちよき一小ニセウ小ニ不姪

血一生死一血のターカ血脉ハ面

乳一乳首乳づくね一乳母ハ面

力人三祁似三ちうう手一力革一絡

合力ホニモ

中川一内ニニモ中ツ三モ中中^{ナカツ}不姪

災ニ立ニ誓約采ニモ

誓只一音一

縮一ちうひ一ちうえ一物ちう之雜

千御一立ニ如故文一折

勅使一ミコトリリ一折

弛走一かんどう一折

貨二價ヒ代ヒニモ

首一まく幕ハ夏ニ

散 宝石之牡丹柄柄ホの散^{シテ}く

ハ柳柳ねね葉ふる葉の散^{シテ}くハ面

葉の散^{シテ}く花の散^{シテ}ハニ白

物 宝石之牡丹柄柄ホの散^{シテ}く
あり時ハ物と名とニ白去

近事卷之不居

(1)

綸言一綸旨一宣命一帝乃
院宣ハ法皇宮方
。令旨官府ハ法ノヨリ出ル而
際時の客一正月二日 指政園向處一晉

輪走一經走ノモ云

○傳大士兩二童子尊達尊滅ト云

燎終一イニラ一終焉一カ
犯ニ三白氣傷之

旅泊一旅館一カ旅泊面

龍一カ一ね旅骨車旅眼内
於腦天於川中旅一丸モ也

旅水非水於官水之非旅

利一利足一利口一失利一利至一

利刃一面之刀皆有之

里一里万里非居

格剝一立之▲津の立人秋ノ

捨一貨具之内於非尺面去

(1)

尊一尊蓋一蓋水ノ

濡衣

一立ノヨリ走る之從言一

溫一音一溫泉也一水也不知

糟一音一溫泉也一水也不知

ぬ渕也

五文四口

七

沼二名面ニ二付字三タ

布ニ報ヘ布羽織布筋節

。さう一布本平疋麻布

海編繻皆生布多う布の
本風ふ難之△布とく風難

絶一や一ねいわけ一わ

ねふて、多面、絶反、加、カウ

陰七ニ達示ニ一わや、底面

陰脚一わ

盜一やと人一盜城一わ

スリ追剥中忌切小面

主ニあうド面主面

一音一イ子ル一わ眼セウ

生氣の底人の底ニニル

寝窓一拜一五タ

高一ニキテ一ハイハリ一折

やくめを一タニ弯ニ面

りくぐめあるおは

ちとんのぬとくニル。あぬとく

湯ニ四てみそのぬニル

ぬくしニロ▲やうそニ四

股うそ四音面

百

累代一累ヨウ一わ

流罪一廢流一た近一折

瑠璃一廢流走如來一折津

翠雀秋面

萬字一ふう字一折
數字四音四ふう字面

さくニル▲さくニル

○奥のれと見よ清ユ

鬼一キ一極也一坐也一鬼也一

鬼画一各也え東一乘十也一

追儂一鬼と號てあるべし也

鬼王一本一大笑ひ立云假名也

齊一音一肉さう一わ眉の齊一

津二名二乃水尾阿のうあく田

根の戯男一も中の森

支岐路ハあつむれ候くいわふわ

尾花一秋之彦乃枝々多

尾毛不距正乃神總

山数二三る

小仏一音一こひり一弓面

小毛衣一毛ニ山藍の神

小野一小寺の小町小寺乃小毛曾

木名の因一面小寺の奥非山

小泣一山数一山数ニ三る

足ニタ木ニ山数ニ

走ニどちらとどちら一弓引

走モモキ一草と木をたとえ

枯する木下ト云後あいう

萩一秋之代の雪ニ一溪萩一秋之

萩の楊家ト苏まへおぎり

かきく

芭一セニ芭織一とてぬき一弓引

絃一下ク絃一金鑓の弦ニ面

誓一水也と為しもとハ爰

房辱康次トシモト秋

折木草紙扇ホキシテ乃お

折時氣ハ字もく比因氣ホニニル

折一鼓と例ニ一罪人ト入ニ一

押圈一葉子ホ入ねれりと之

押治玉家ニ月雲ニ多大ニ

納四治レニ面遜四音四

诵一秋之生歌一胸脯ニを強ひる

弓面去

敷ニ音ニニ庄の弓ハ面

游水ニ一詞ニ音ニ一筆ニ一面

惜四音三可憐ニニル

鐵一望之ノ一折身セカ一虫ニ一面

長之ニ音ニ不活四音の田七面

タ一とケジ一女郎一女房一ト女一

皆リ市女一歲の女一女ミタニ面

妹既娘妻妻ホバセラ

妃一女ミトカニナリハシ娘娘

妻妻ト女女郎市女木年面

上病ハカクナウのやく女郎ホ不活

妃ハ老女の絲ハトモトモウカのと

。古今ニナリハ婦ハ

。序氏歎波の於カハ婦ハ

八女郎死一秋之ニ字丸不活

音ニテハ弓ニ三る去

ヘ男郎モ一秋之茶のむくれどニ面

音ナノ不活

且字毛降ゆの並ハお去

吉六字毛之承ミテひさニ其ニ

弓ル不活

高信 ととニ二句 信の事ニ
称ニ

いきニ至ヌキ不痴門の事ニ

音

小室を之ニニテる事ニ甘白痴

小四（モミ）

押 家（カミ）

男一立三一音ニ一カト 不痴

男雄（カツ） 桂男 牡鹿 雄（カツ） 田

おもりこ ももくとお男（カツ） 二

支（カミ） 一玉曲 一臣坐（シマサヘ） 一わ

審支（カミカミ） 一男ニわ 始（ハヂ） 一直

雄（カツ） 二と（ト） 一男（カツ） 雄鷹 一牡

丈夫（カミナリ） 吾（ウ）

親（カミ） 一音 一ノ絲親 一親慈親
至（カミ） 之（シテ） の親（カミ） お母（カミ） 生（カミ） 故（カミ） の親
親枕（カミシタ） お面（カミ） 親子ニカ兒不痴

親子（カミシタ） お面（カミ） 不痴のト（ト） 不用非痴懷

天地の間親子（カミシタ） お面（カミ） 不痴

上ヨリ下万民（カミシタ） 朝（カミ） トモア孫（カミ） ト不痴

寔（カミ） と辰（カミ） 犬人（カミシタ） ト後（カミ） ト不痴

宣（カミ） 玄（カミ） の内（カミ） 不苦但白候（カミ） ト

老（カミ） 二音ニわ お面（カミ） 老（カミ） お年老（カミシタ） 也痴（カミ） し 家老（カミシタ）

弓（カミ） 三年老（カミシタ） 也痴（カミ） も 一向鑿

眉の若（カミ） おせら 亂（カミ） の波（カミ） 後（カミ） のち

小二（カミニ）

八 たいらぐニ系（カミ） の字不痴 老（カミ） ト一あ（カミ） 之
樂（カミ） くらむ（カミ） 之（カミ） のふ（カミ） こりよ用（カミ）
承（カミ） 之（カミ） ち

翁（カミ） 一 杞（カミ） 岩（カミ） 烏（カミ） の内（カミ） 一わ

翁（カミ） 二 麻（カミ） ヒ（カミ） 翁（カミ） 也（カミ） 面

し女（カミ） 一 天乙女（カミ） 一 通（カミ） 女（カミ） 也（カミ） 面

しのすわ し子朝日十二月心

己一朝き一おの一路行

啞一やふりをわ言ニロニニル

侍は一宮仕の女官へ侍サ一お

拜仏神日木立ニヨ礼物ニ面

めづくニ面

生一草木ニアリ四十九面四生ニ生

生生生生生ホニ不也蓬生ニセラ

壬生ニニル

御四九清四九ヨンギヨハ面

○オトオカタ

△教ニ清ハ四清のまゝ四折多不

だんこさよの字ハ面ちるヒ

清ニ清ニ清清清イツミトニ

清清清のまよトニニル

清ニハカタも清ニハカタ

大四音四訓音ナリテ五

空ニ一空ニセキナニ三

母モ一ノアシムニ母モ代一

母モ一母モ一母モ

御ニ一御モ一五立又 わ

画ニ釈ニ法ニ婆ニ欣ニニル

面ハニヒノミツニセタ おもむて

八の角 水の面 川の面ホハ

乞ニニル 面折ニニル

引シカシハアシカアシモナビ

。引シカシハアシカアシモナビ

生モ立ニニル あひとハあ

多
少
一
略

卷之二

。迄至承奠文宣王顏子二坐
。太宰府八因子騫凡三坐
。大司寇八二坐九哲凡十一坐
右延弘式二十五委出メリ

右延喜式二十九、委出メリ

不
根同一音一也

卷八之三
衣紙山酒本

のふはうを一々こ面のよしら
かくへいはくは不也
表のよハ佐ひき裏かくとの内
面のよハ佐みく見底ス村隱鶴
一画とソクナハ只見底の事
依表と一画トシ

西向一
ちいへ
東

ちうる新月より日より星とわゆ
へりと腕のよフキイフルカタト
訓スルシ月の方へり
。腕也。小縁也。難い腕夜。非月春
。かくらくもかくらき萬
かくら傍人小非月夜。ねがひけ

月日経て、一也、一元、一わ
カトロウ

盛襄一立襄一直
大沽。每一站至
行。乃云

奥田　山野　久保あこ　山藝の奥

た
お
の

あまふ = 一粒ニ あまふ = 本のまわ
かのまふあへ 榆散ぶ面

初の秋の月夜
柳枝小面

あまの宮一雜女二宮ノ御恩

感
人
一
生
死
一
別
離
二
面

がひとを登

卷之二
七言律詩二首

起一弟生於一桂初

わざわざ
人の旅宿

今
之
事
也
不
可
謂
無
悲
也

事二件也。一、
事一卷。

。考陳勞之以爲下第而
而一非立升也。下第五

うかくのうへんは、おのづかしに、

落 宅のよしを 二四 下 一 二

むちゆき二句 一方五八半身

。近頃家傳の、萬バ落の字を忌し

字を
其像一
也

おひさま袖とおひの桐姫年二歳

文
字
の
教
育
に
關
する
追
加
文
件

卷之四
圖四
本草子目

卷之三

卷之四
二十一面

音四
覆正音四
重正音四

卷之二
自序
二十九

たるか一
仙洞の巫女
也▲緑



美ね一雜心居きねども

そぞく そぞく ふまこ

そぞく 一秋 そぞく 面 そぞく おぞく

りきれ様 一非立

赤玉下向の少将様の猿

活一勺ワタシ尺ス 千活一世活一

活七勺ス

和田の系一わ智田チタニ不燈 系二のる

王一天子、皇子ホノミコト將泰、王ミタ

唐ノ王、武王而明王四天王シタウ

別リニ志シニ志シニの別リニきみキミ、ちる

若ヒトニ三四ミツシテお去アフタ、草木シマツの上アベ四ヨリを

初ハタハタの上アベ四ヨリ人ヒト海シマツ木シマツ生アヒ、面マツカセ

。草堂シマツドウ若志シマツシ若志シマツシほくのよのよ

。草う葉シマツハ葉ハ紫シマツ紫シマツ鉢ハシマツ

。あ和布シマツハ皆シマツ心シマツ

。あ系シマツあ机シマツあ竹シマツ出アヒタ蔓シマツ

矣シマツ一音シマツ一山シマツ突シマツ繩シマツノ矣シマツ不シマツ面シマツ

蕨シマツ一ひいシマツ一わ紫シマツ蔓シマツ面シマツ

早シマツ田シマツ一神シマツ一施シマツ一施シマツハ蔓シマツ

葉シマツ一非極シマツ一非極シマツ蔓シマツハ蔓シマツ雜シマツ

新シマツ口シマツ秋シマツ福シマツ勝シマツ勝シマツハ蔓シマツ

鶏シマツ口シマツ祁尺シマツ鶏シマツの口シマツハ生シマツ鶏シマツ、

鶏シマツ一鶏シマツ峯シマツ一尺シマツ鶏シマツ尾シマツ一皆シマツち

名シマツかシマツわシマツ名シマツ

童シマツ一コシマツハ一コシマツ一ち

脇シマツ支シマツ一側シマツの旅シマツ一賜シマツ送シマツ一旅シマツ

脇シマツ是シマツ一絆シマツの服シマツ一各シマツお生シマツうらシマツは

服シマツ拂シマツ一太刀シマツ刀シマツ不シマツ面シマツ小刀シマツ小シマツ内シマツ

涌シマツ水シマツ一湯シマツ三シマツ一財シマツ三シマツ一わ音シマツ面シマツ

輪一音ニ一ノの輪一級一
輪一音ニ一ノの輪一級一

。鶴の日の輪面。轍七弓車の

桜一弓の桜一弓 竹葉一面

後後一班居 二弓四弓二弓

三弓五弓一隻之

三弓五弓一弓彌一弓 五弓又弓

綿只一極細一綿用一

綿子一弓之綿細面五弓二弓

綿子不綿 綿子三弓綿

古綿 三弓綿財綿木弓雜之

綿子綿かじしき葉之綿秋

綿蔓うげ綿か

六ト吹ト新綿ト毒綿トハ秋

和歌一方ニカ。和ちの浦付ノ不麗

正弓弓の浦付ノ不麗之浦秋

と和弓面之付ノ不麗

我字をも日出とて日向が

我君 非人王皇ホニカ。

我立仙名和天之山也非人

我立水邊也雜弓と極ハ被

忘字をも立鳥ハ我之六弓三弓

分分水邊の波ハ重云

刻刻字をも立鳥は我之六弓不麗

字をも ▲僅ニガニ弓

賢一賢一弓賢一弓一弓一面

寄弓一音一面からぬふ面あひ弓

毛弓二弓

毛弓一非人音ニ毛弓一毛弓一



菫子ホ伊モロサシホ

一大升ニ立極面

かけ一ひよモ ナカジマモ

利刀一髪ニ面 刀ニ刃也ニ二白

ウムニ一只鷦一れ雌雄どもナハム熟

ガクト一沐トヒ譽ノチ酒シ

タマヘ一藻也ニ藻ニ不姪

ホウニ草ニ一本ニ草ニ一品ナリ

芳草ニ草ニ一本ニ草ニ一品ナリ

香一香前一香合一乳香 株香

香一香前ニ一本ニ草ニ一品ナリ

薰一香前ニ一本ニ草ニ一品ナリ

臭一香前ニ一本ニ草ニ一品ナリ

薺山子一多松ニ一わ麻あ面

廁雪候東司園所カウカウガニ

辛子一辯ニキカニ一毛

格一格別一格式一格外一皆毛ニ面

伎ノ一例ニ三毛ニ三毛

絆八箇ニ三毛

數字一二三百千万付了ノギ誠ノ

一文ニ七匁去訓音カクテハニモナ

快草偏ニ三毛

二文字ヨリ十字ニハ訓訓面音

音面訓音カクテセラニ

百千方ハ訓四音四訓ト訓ホ音ト
音訓音カクテ面

重矣至ニキ不透かニモニカ

。物とれとけの字カクテハ付て、
オ城ノノ不透

景鶴系夕景浦系木ノ皆れ

景庭教げ方至ニ三カ

教ふうてゆき日月人生教ホ乃

却く教し陽うけと云

僕ふうて家ちん山宗医肺極や
家ホのとくうみりけく陰

写ニタ不ニシ也

度秀才絶ひそゝ度の御非水

度の肩仙洞の度度波

度の谷不吉の名氣く神度え

度一木全一人一様木一木示一

喰やの田示ハニ

カク四音四訓音うつ面延三白

杜君一木より一隻

鷺一枝と茅萱刈り萱うわい

萱菖蒲と皆秋と

郊系ニ一木の系ニ一木示お牧童下面

芸一木とゆうと背あうう矢ハ西

株木ニ一酒雙木の内一面

桔木ニ一木ニ一木

枯木をくもせり桔木誠を姪

枯木難じ風ニ面

机秋の木家と秋の木蔓紅葉

冠木とよス

桂難く桂の木秋く月の桂の木月の

桂木ノ月の桂の木系木皆秋

月ニ詠ひてハ非桂也

柏難く柏の木蔓教落冬柏參

柏秋の木蔓桂木ニ一管也一木

深き面木体木淡柳寒耳千

は千柳木秋辛材切柳木難

錦ルとすきハまく

かのこのとく一株のすよわぬ一二の二

のりそばくくゆよど俗云

カウバ 秋も花ハ夏も 楠柚 木立橘

蜜柑 全样 橙九年母枳穀

け九種一ツ花各又一ツ

榧 一雜じ酒三油三材三各新秋

榧 一タの根一蘗ニ一わ

葛 ふて二吸う一吸う一各お

葛 一玄雜名の葛名どうて季を経

菖蒲山ニ

錦 うて四洞とくろ三弓飾とあす

天板 三弓とく

髪 一クミ孫ヒ一髪ヨリ一髪をホ

巻髪 うち白髪かニヨーネが

角髪 ち角ごとげかどトホモ

髪 髮 天壳ホセウ

欣 一山欣一人欣一雛一あ鎧ハ面
革 一久の草一力革一草筋一各わ

皮 一皮術一本二竹ニ一生筋の革 二弓

鞆 一絃の筈一髪ニ

頭体ニ生筋ニ一毛打の瓦也

破の段芋段木面

郭 四り頬面後いふを忘れケ面

川口 外面ホ不透 おつも 三弓

象もとからひも三弓の革 二弓

釣三三勺 皺子花二百空 三弓

。輪化 二弓タニ弓多魚共空矢十弓

タタキトうて一圓め

肩 一音一かごのわ肩一面肩衣肩側

ア 秋一春一ぐん一ぐん一菱喰一
肢限 一弓あ多季筋のてと 絆

古事ニアマト不用多筋のてへ

乃ア秋之ゆうアハ云乃ア莫云不用
ト全ニ全不語が不語ト全モ語工

ノ怪雜シノニ三カ

鴨一冬ニ一冬トハ小鴨わうじうさひう
泥龜タカニ皆毛尾鵠の鴨秋モニ鴨

脚ウテ鴨ろのニホヌ
外のヤア鴨を極めニ歎と嘆ふ
急急鴨皆大ニ面

鱗一雜く衆ト雜

卵一玉子一多のニ一丸ひよと一面
移一鳥立カマツチ鳥跡カマツチ鳥丸ニ面
龍の移移ニ極ニカマツチ非水生ニ至カマツチ
蝙蝠一夏多々ニ虫の迹

房ニ一丸

蟹一擁鉤一付字面

貝生死ニタの貝一非生の貝一

卷初ニ一皆あり去

貝虫取カイ水ニキ抱カイ床螺木面

毎一泥毎ドリダスツホン木面毛

かづく一虫立秋カマツチ鳥毛被毛

鉢カマツチ神鉢蔓ニコトゲカマツチお云

改一夏ホウシ故カマツチ一故屋カマツチ一

狩生殺カマツチニ事カマツチニ四孫カマツチ一

草持一株持一小面。粉の使カマツチ粉良

猪カマツチ師小面。猪カマツチ毛カマツチとカマツチて

季カマツチ持カマツチ秋カマツチ到カマツチ卒カマツチの向カマツチを

粉場の雜カマツチ毛カマツチ粉カマツチ油カマツチ粉カマツチす

こきんカマツチ毛カマツチ指カマツチハ向カマツチ粉カマツチと

鸣カマツチニ云カマツチと云

。獸持カマツチ小門カマツチおきカマツチ小門カマツチ小

麻子カマツチ一夏カマツチ小神カマツチのニカマツチ二カマツチ一

墓カマツチ一から一ちカマツチウラ時カマツチ墓目カマツチ小面

蛙

少^レと^レ暮^レと^レ雨^レ蛙^レ 露^レ 雨^レ 蛙^レ

ち蛙^レ暮^レ枝^レの^レか^レり^レづ^レ葉^レ

宿^レ二^レ多^レ三^レ虫^レ二^レ多^レ三^レ

宿^レ

火^レ屋^レ一^レ秋^レ麻^レ一^レ秋^レ

火^レ

秋^レ屋^レ一^レ夏^レ坡^レ三^レち

秋^レ

輪^レ一^レ秋^レ乞^レ一^レ秋^レ乞^レ

轮^レ

阳^レ乞^レ一^レ乞^レり^レり^レ一^レ春^レ

阳^レ

か^レく^レれ^レ時^レ以^レ方^レこ^レ英^レを^レ鈴^レ時^レう^レ云^レ

か^レ

金^レ一^レ寃^レ一^レか^レま^レも^レ一^レ皆^レひ^レつ^レ一^レわ

金^レ

蟹^レ一^レ蟹^レり^レ一^レ蟹^レ一^レ蟹^レ向^レわ^レ云^レ

蟹^レ

桓^レ一^レ桓^レ根^レ一^レ桓^レ一^レ桓^レ一^レ桓^レ向^レわ^レ云^レ

桓^レ

虎^レ落^レ二^レ弓^レ旁^レ處^レホ^レ色^レタ^レ久^レ坐^レ也^レ

虎^レ

慕^レ人^レ船^レホ^レか^レ不^レ也^レ二^レ句^レ何^レ非^レ居^レ

慕^レ

○旁^レ處^レの^レか^レ不^レ也^レ三^レ句^レ何^レ非^レ居^レ

○旁^レ

か^レふ^レ居^レ不^レ澤^レわ^レ二^レ人^レ三^レ業^レ三^レカ

か^レ

也^レ茶^レの^レか^レい^レ面^レ云^レ

也^レ

圍^レか^レふ^レ面^レ桓^レニ^レ有^レ茶^レの^レか^レい^レ面^レ云^レ

围^レ

門^レ四^レ音^レ四^レ訓^レ音^レ面^レも^レり^レ達^レ七^レ弓^レ

门^レ

肖^レ戸^レ戸^レ扇^レ櫻^レひ^レ門^レ鳴^レ門^レ

肖^レ

由^レ良^レ門^レお^レ七^レ弓^レ云^レ

由^レ

○帝^レか^レと^レ七^レ弓^レ七^レ弓^レ不^レ泣^レ門^レ聲^レ

帝^レ

三^レ弓^レか^レと^レ不^レ泣^レ

三^レ弓^レ

詠^レ歌^レ一^レ詠^レ歌^レ一^レ詠^レ歌^レ一^レ詠^レ歌^レ一^レ詠^レ歌^レ

詠^レ

住^レ吉^レの^レ詠^レ歌^レハ^レ詠^レ

住^レ

詠^レ歌^レ一^レ詠^レ歌^レ一^レ詠^レ歌^レ一^レ詠^レ歌^レ一^レ詠^レ歌^レ

詠^レ

上^レハ^レ人^レあ^レる^レか^レの^レう^レる^レ三^レ弓^レ音^レ

上^レ

後 非 玉 美 一 後 三 一 後 度 キ
水 月 心 お の 内 一 ち わ り 次 豊 五 面
宵 一 ち わ り 甲 一 端 半 手 一 ち わ り と と
の ま の 鳥 人 ハ 甲 二 三 口 ち 甲 ハ お
今 一 う る 二 こ よ 一 え 一 わ 世 銀 銅
狹 窄 隅 二 お お 三 方 金 銀 銅 狹
唱 韶 八 尾 二 あ お う う れ 四 五 丸 三 面
。 目 後 曲 尺 ほ う 聚 は 二 ち 締 不 吻
鐘 三 時 三 美 一 た 入 わ ハ 時 の 鐘 之

餘声戛然危極之音天面
紫聲非復而之鐘也二四者去
而之音十音二九者平於八面
一者二三者一皆行去弦全張不
之亦之謂也不豈

解
一之繩一かき裂一れ
刀一刀第一菖蒲刀一か太刀
刀一刃第一菖蒲刀一か太刀
狼指末面小刀薺刀末面
要扇一洞一れ裏ふ名不面
紙一之方々一葉名一れ名の子
毛ち松原川合毛紙末名
紙子一之毛紙子二不毛
惟子一夏之毛紙子一一面
帽一毛紙之毛紙一一面
毛

雨の傍帳二二勺
一名の三一簾也二不簾
葦蓋

編笠ホウ月日のかさハ面

傘一力ナト一傘ホニ二勺笠ニ面

作雲一翁駕雲馬

。牛る舟車袋ホ御と面

翁一一名のうこ一ねえ

笠作樂わかこ耳ハ面

笠一翁のゆ記念毛ハ筋一筆

。歌たがいのゆ忘れてハ難

記念一意の歌見ニ二白

忘びまおと記念毛ハ筋

毛又一毛わくし

這一曲は一かくふ一卒家ホ達

かく行枝一侍毛一毛

日四ねまつ秋秋家の落ル各

かし四ば酒甲斐のふ不透

派治一派一面毛毛毛毛ニ二勺毛

考一考一れ▲隠毛一毛一面

筈四算一面▲欲一毛一れ

かけうのせふ難▲捕ニガムニ二方

掠一底ニ不毛▲限四毛ハニ二白

原毛ハ秀セウ医居ニ

粥一毛枝一毛ニ一毛柏承ノテニ

村一山之非水楊一面▲賽水ニ賽撥

冠一音一聲毛頭毛▲候ふうて四毛

納一弱子一死弱一れ▲毛非居裏毛

儀ニ儀ニ方ニ序ニ二白▲悲ニ意ニ二方

乾ニテニ四毛ニ

川字去川毛のぬ非障川毛の財

非障

風字去風炉内旋ホニ二勺毛毛嵐
用東風ホの風名ニ二白風炉ハ二白

元文式中

十一

極の變考書二句萩扇三句
忙不殆大扇風二句夏

も風もあらお夏くや風もあ

木もしほき

橋字去代又ニ句

波字去波人ニ生氣ニ色別

河床殿ヨニ句去

毛字去日於光ハナヒト

毛字去字毛ニ

か綱の二句去武又無う毛

毛ハ引ニ句毛

綱の二句不應

毛獨うが二句云しもたが不應

毛根ね根柄枝丁金鑑井扇谷

松鳴おひ放氣一ば中の伴が不應

搔四△傍四買四△勝四

蒙四△幽ニテ四△久ニテ四

よ

仕丁一仕丁又すとれ
あこねとやせる山一伏兵の中山を

○横ねきる山と云甲斐西野、横

流星一花火のりウセイ一わゆく一

一歌界一わ

龍一ト一巣一わゆく一まく面

四の弦一琵琶一わ

代たい代ニモニ二わ代一ちニれ

君う代一亨ニカニモうづては

訓秀面世ニニ句毛

世於世四ニ平世四ニ仏の世ニニ事
教の内じ一の内ハナニモうづて

てハ采面

。身の世二本の二きの世ニ七八三きの
世。身の世二本の二きの世ニ七八三きの
世。身の世二本の二きの世ニ七八三きの

也。志の如く全のせ。」
九

天教本源とのこと

。於世ハ本體ニ世と於テの如ニ
。キ世ハ世ノルニ世ノキアセモ

「卒曲」
世間の歌
志の歌
心の歌

○世の中二句世乃ト去也
ヨヌヒト
案門一來風捲人二句捲世面世三
白

クロ
孝子のほどたりが世三勺が世不蹉
達一矢其一矢名一矢う多一非陸水

舊約全書
舊約全書
舊約全書
舊約全書

蓮と叶新
達列ハ葉とさ
うるま一羅 之をうら
秋

月夜去百韵三十四
わがらく

蓬 蓬萊 三者
蓬 一物

卷之三

淀より三あくまで一わ岩下の淀七勺

吉字去芳空山奥也

承字去音も同る有二句

まごの季節で四、夏秋を左、准之
と右、秋は、春の季節、やがて

卷之三
七言律詩
五言律詩

朱えニよがう一朱せ一けれちく
夏秋之葉秋室

名ふく
東川夏ノ物二九

ヨリのちと一
天子の御座（ヨシノミコトノミサマ）
各界（ヨリイニヤク）一
鮎（アマツチ）おがくにあら三勺

ヨタカ
一想ゆ一わは君す今れ
一想一山の秋一秋わ△晴一もあ一わ

齡一老ニ弓年積ニ弓 ▲育ニ今有ニ弓
トシテ一役ニ弓 ▲接四接雲面

筭四弓面 ▲復四綠面

呻弓四

た

太鼓一太鼓板一燒若三吳名一弓
太刀足 太刀魚一わ 太刀板底も弓
狸一 狸のき麻ノ一狸汁一わ
出の巻一絆若の牛ノ弓
たとこ一美石一わ まをち一灰吹一面
一弓 妖婆一わ 妖の灰陽弓
体一人体し秋の糸二弓
大弓四音四訓音かう弓 鸠七弓
堂一天教く名の堂一わ弓
棚一名棚一わ若蒲萄弓

鷹々々々鷹ニ名ニ一鷹通ホ一
鷹杖一鷹大一わちと一毛と
すし坐モハ鷹一毛鷹一鷹通
ホ一すーー。鷹の柔 鮎鷹
鮎鷹 白尾の鷹 緑尾
。謝鷹 毛とか方鷹 わく弓
毛鷹 雀 雀鷹 小鷹 穴口小準
毛鷹 雀 雀鷹 熟鷹 蒼鷹
鮎鷹 雀鷹 雀鷹 雀鷹
毛鷹 雀鷹 雀鷹 山ア 山別
鮎鷹 雀鷹 雀鷹 準 大鷹
足鷹 雀鷹 雀鷹 雀鷹
聖鷹 そぞれ鷹 雀鷹 雀鷹
す 二毛
山別 雀鷹 雀鷹 雀鷹
山別 雀鷹 雀鷹 雀鷹

近花板トモ 春人
山別 雀鷹 雀鷹 雀鷹
山別 雀鷹 雀鷹 雀鷹

猪場 あさけひ カミ朝 (ホセキ) ねらひ
ぬらひを 列車 はねもえうり

唐鷦公かへると右居 武家ハ左
玉 寶の玉四ひひの玉四ひうの玉
ひひの玉面 (タマミツ) 灵參 驚灵作
お三方本作 (コソク) お作也

。隔路ハ室の玉三弓 玉真貝玉
備子は玉 水晶七宝の玉 宝玉
玉柳 (タマカズ) 玉祥 (タマヨウ)
玉真 (タマホハ) いひの玉く 蓝玉 (タマヒロ)
匂ひ玉 真玉 玉敷 (タマフサ) 目の玉
眼玉 (タマヒメ) 玉弓 (タマギボシ) 玉弓

塊 (タマ) ふううて四玉然一本腰 (タマニハ)
金面 (タマガタ) 生乳金 (タマノミ) 金 (タマ)
金の玉一粒 (タマヒナ) 金の玉 (タマヒ)

金牛 (タマウシ) 不源魂 (タマノソウル)

旅 (タマ) 四音三四訓 (タマタマタマ) 面 (タマ)

丁の旅 (タマ) 黄泉の旅 (タマ) 非旅

旅の爰 (タマ) 族の文 (タマ) 非 (タマ) 非 (タマ)

鈴呂 (タマ) 音二 (タマ) 非生水 (タマ) 非 (タマ)

銅門 (タマ) の鈴 (タマ) 銀 (タマ) の鈴 (タマ) 三 (タマ)

種 (タマ) 一名 (タマ) 程 (タマ) 一
ウセリ (タマ) モミズ (タマ) 前 (タマ) うら (タマ) その (タマ) の季

第一夏 (タマ) 一 (タマ) 二 (タマ) 三 (タマ) 四 (タマ) 五 (タマ) 六 (タマ)

竹 (タマ) 竹 (タマ) 竹 (タマ) 竹 (タマ) 竹 (タマ) 竹 (タマ)

竹 (タマ) 一 (タマ) 夏 (タマ) 二 (タマ) 三 (タマ) 一 (タマ) 竹 (タマ) 竹 (タマ)
花 (タマ) 実 (タマ) 一 (タマ) 二 (タマ) 三 (タマ) 一 (タマ) 竹 (タマ) 竹 (タマ)
食 (タマ) わの (タマ) 竹 (タマ) 竹 (タマ) 竹 (タマ) 竹 (タマ) 竹 (タマ)

蓼一大もで一ぢ とふもゑく
寛ト穂ハ秋く

草一名一きのこ一きび一草名
ト治 神草 松草 茄草

平草 玉草 柳草 推草
麻草 岩草 花草 いぢ

天狗草 あや 松森
菌のう わく 推れ二句

薪一非植 薪の能二刀くスアレ
乃く一面 本紫樵二句もさわ

焚ニヤくニ七句 旗ニ三句

丸燒毛 苏子焚乃
薰ニ非植 丸くニ七句 ヤクニカタ
ノ

香一面 かくろ三句 臭ニ七句
あれ 茄家 菊ひ落葉あ
蓬の名ニ一出うちわうてす

七夕一哭名ニ一ト やお一ねそよし

日クリソラ 薙ハ鹿ののくじ
黄昏メウタリニニタ淮一被ニカ
ム公ニルセ一名不レ非尺巻ハ尺

高根富士の根ハ、わ木の根、茎根ホ
。ちか一名称の時ハ非山、ち根一
谷ニ名不ニ一峯、ち根ニ面トテ
山の鴉冢山ホニカ

洪ノツバ 佛ニ面トテ
嶽一名不ニ一峯、ち根ニ面トテ
谷ニ名不ニ一山、付字三句、蟹也、
谷の戸非居

游ニ冬示ニニ山く水こ糸をわ面
咸川 鮎は波ホ非山

短冊一あこ巻勺ニ面
波一をニ白糸の波一面 楠の波一面

草一 夏ノ非來ニ居不用

臺一 名の巻一臺不ニ二勺臺子西

楊一 岩の楊一柳楊一れ

依一 名の儀一總儀ハ妻而夫

鶴一 多ニ子鶴一毛ノれム

冬一 居不用音ニ西夏ノムハ不距

寧一 四脩本綿山玄紙衣乾木

佛一 水ニあ人のたより不距

田ニカウチノカウカウテモカウ

雜ニ非水ニ極ニ田ニ塘ニ雜非極

田ニ他ニ雜極然既田ニたク既

もくとも 因ニ極因ニ多れ夏極

耕作雜田ニ夏秋の田ニニシ

ちニ極也 田蓑の爲田ニニシ

蓑ニ面 多のひのト田ニ立タ

竹五勺去引面少引ノレニ五勺去

極少ノ三勺竹返足竹 极く

少勺絆 ちひるま。竹ニ三勺

畜ふうハ巣ニ勺引武冰 非水

戲一生絆ニ一勺れ男一

たゞうそて二勺たゞく なづく一

もくふニ勺引ハタニ一

適ニたまく一勺まさハ一勺面

め一たまく一勺既不既

既洋一通ニル

淡云一透法一ノ

闇ニヨリカク面

網一羅 極網毛丸 使四うとがニ

盜一 そぞうか

例二 音ニ

波ニ立ち一ノ

立 宅去 立田姐 非名非二人秋心

立田姐 二立田 不立姐ハ乃立

立田之立立 旗の立足波一郎

淮 字立ノれ松虫非立松三立

立 も仕立ハ治ニ立

立 も仕立不立

辟 宿二立立

辟 宿立ナラ

辟 宿立二立立

九

連歎一立ニ立付ニ三勺巻包俳陽西

九ニ立と付テ立テイニ立

廢治一立ニ立吉生ニ立

料理一立ニ立ト一立料也ツ一三勺

領一年以一具足一以ホ三勺立

連理一立ニ立立ニ立ニ立ニ立

連理一立ニ立立ニ立ニ立ニ立

急幕一立ニ立立ニ立ニ立

巣中一立ニ立立ニ立ニ立

靈一立ニ立立ニ立ニ立

暦一立ニ立立ニ立ニ立

例ニ立ニ立

料理一立ニ立

伶人舞ヘ立

れト知の立アケロテ子メレ立

立人舞ヘ立

ち曉 非矣 弥勒出世トナリ

仏說わきり立木二點うち時ハ先づ
後年わニ白衣をあき方煙氣極すさ
卒塔婆一石碑一面仰塔一七寸

石塔一れも

奏志一奏志李一れも

襖民書札一山伏一れも

襖達意山一隱山一

立ハ久堅ニ玄井ニ勺天ニ

立ハ久堅ニ玄井ニ勺天ニ

虚七夕譜

七夕しき不姫

虚四音四ノノメノノムノノ梵

傍 乃名傍え傍無傍す

山門又アわく一 わくも

祖師一祖一師一乃六祖ホの名一面

仙一非山 仙ホ一非極わも

蓬仙又わくし

園二音二ふくと園ト園生ト植也

戰本ニ差三毛ニ方也ニ

芳わきと内斜二弓

換一利用三破換一れも

俗一俗迄一俗性一民俗一本皆面

ヤ一ふううおうて又一三十三年四十

六十一年の字ニ不姓

草夏雜前ハ七月荅ハ九月

新秋之ハ秋之

祠 宗主無主不付主ハ不祀

波ニ二勺 沖立立波、育ニ二勺
字を外面一居不用く
伝字ちとばニ二勺 廉ニ二勺

湯も波之水也

支ニ弓毛

あうと一弓れ

東一弓ト一弓

劣車一弓毛面

弓獨後房弓

移一弓ニ一面

一高ニ一

山

和ニ 反ニ 伎ニ

四 吻四 楠四 育二

皆くひくを音へ行わくし

追儀一罪やいとよ 除免要面

悉リと波人を棄れり達矢船

波人を追一ぬ事すシ尾おれ
猿ねタニニツノナリ孕のタニニツハ

大神おらもスアクシ

芳花フ一弓ニ西もニ弓毛

石ニ弓毛

夙ソ一鉢とく起車人鈴ニ二勺

朝ソ一八朝一元日一弓毛

晦ソ一音モ一音一弓毛

砾ソ一音、麻多乎一弓毛

松ソ一弓毛の松一弓毛

擇食病一孕ニわ子ニ二勺

けくもの玉瓶案毛本免ニわ

はど毛毛一弓毛くの事

四十

惠一之來也。無不有以。而以何

きくは生れあれ

化一
胎ニ
トニシテ

追誕一經
一經一傳
傳一傳
傳一傳

卷之二
金匱要略

七
一
名のむ一七佛
一七峯
一名ね

也公之也也

ツリ^クニ
一筆^{いふし}
にとけり

東坡先生集卷之三

橋——臺——早——櫻——桃——兔——蘿——柳——夢——

桜の満開の時
桜の満開の時
桜の満開の時

卷之三

第一秋之考かづ一考も長ハ其

祐元多々あつしおの酒を雜居

月季秋之嘉美之日月二字互

執事之三八月
一
一
一

水經一卷
劉注
非水

蔓一茎三全葉弓弦三勺

河一水邊の歌
わらわのわる

卷之二十一

和
音
一
鶴
一
音
三
わ
鶴
一
面
果
子
之

翼一匁二
身一匁三
翅一匁四
毛毛五

塚一名平塚村
里塚みづ下

辻之て四辻占辻主益一族毛
セ

一
金工也一
金也一

卷之二十一

うとうと
や艮 旛師娘ホシノ
生糸 番一匁
あか あか戸アカド二匁

妙見 藤原 姫娘ホニコ

住一主一役中主一丸 住主一而

傳
君
新
川
木

行は二五一爻内一九四爻に小畜
上二爻三爻巽三爻一爻二爻九五
三

凡
而
主
之
也
一
之
也
也

而二兩了三丁了四清了

田門才子全集

告之四仙津の巻

西一、北一、南一
絕四掩絕五之而多之

片一粒堂の片一粒を匂奈

卷之二

常四
たのむ
尺散く
非物か

鉢 一名の鉢 一泡の鉢 一笠

柄 一名の柄 一 柄較 柄系 一 亦長

ノリタケハ不
好ニシテ二
度ニ至ル

行二三二憂悲二六七

しセモヨリハ
アラニシニ
二十六

後事不以三上之急爲不可爲

112
也
通
字去此之二句就付
亦

毛子之子也。毛子之子也。毛子之子也。

卷之三

金衣 布園 室キ 柏毛 木の木
落葉小 枯葉山根 あいうち松

神丸古冰 あいの木
もかめいを 痘漏 ハ莫

病漏 あいの木 非柏
病漏 あいの木 非柏

局一ノゾクナ
△居ゆ一茶入ニ面

云産一ムケカ
△津ニ若木一水

包ふノテ四
△化ふノテハ

連ニテクヤム
△透シセタヌハ勿

序ニテクヤムニ
△列四はまニ不透

粒一全ニ朱ル
△透シセタヌハ勿

未ニテクヤムニ
△透シセタヌハ勿

快ふノテニ
△罪ニ斐

席ニテクヤムニ
△毒一朱ルニ

膳四
△繼四
モニ
机二
△寔八
橘八



ミハ

根

木本三草三れー忌根一臣根、雀根

木面毎一心根矢の根木 乃足

根波一 以許之句

年季一 四季一 り 追悼 追居一面

白眼一 見透三 トク 分の艦よ艦木 不透

拖杏一 トク 拖面 拖元ニ わらく
床四 トク 桜一 桜弓一 桜豆一 桜年

各床ルニ 雨乞ノ 残一 トク一 トク一
水きの床ニ 非苦ちく

月四 トク 桜弓ニ トク 桜弓一 桜木
水き三 トク 桜弓ニ トク 不透

眼一 居眼一 トク 生孔一 トク 一
水きの床ニ 非苦ちく

津ニテ まとうし 乐ニ七勺

国一居不_レ來_シ之_レ孙_ニ居_レ七夕
迎_レ立_二念_ニ比_ニ二勺_レ之_レ
浦_ニ二_レ袖_ニ持_レ一夏_ニ來_シ

大串_レ熙_ニ付_レ木_ニれ去_レ

猫_ニ久_ニ因_ニの虎_ニ猫_ニ一弓_ニわ
胤_ニ一_レ急_ニ胤_ニ秋_ニ高_ニ胤_ニ呼_ニ下_ニ孙_ニ

孫_ニ四_ニ之_レ本_ニ孙_ニ秋_ニ孙_ニ供_ニ吉_ニ支_ニ
音_ニ字_ニ去_ニ孙_ニ吉_ニ管_ニ二勺_ニ之_レ來_シ

虫_ニ度_ニ久_ニセ_レ知_ニやう_ニ三弓_ニ

畫_ニ一_レ獨_ニハ_レ

蠶_ニ二_レ急_ニ往_ニ西_ニ

詠_ニ一_レ急_ニ四_ニ

拾_ニ不_レ久_ニ四_ニ

歌_ニ不_レ久_ニ四_ニ

念_ニ不_レ久_ニ四_ニ

詠_ニ不_レ久_ニ四_ニ

苗代まく菊松木苗一匁を
菜手と外ニ菜種一匁をめむ
多菜はニ菜まく菜の前
アリ菜つまむか小か木楚
人立菜うり菜あ菜多
菜ト半吉菜菜烟菜吸
菜け菜種半菜弓雅之
礎菜つしハ美之

七字 芥苏立龍麿妻似のた
経菜

在子一乃麦一ノの行四字た不迄

瞿麦ト之

梨一わのミ一り元ハ未寔ハ秋之

梨山梨盆地雜非極

流四教扇立花矢雙足ホ乃
かくノ非水邊而至

平均藝一詞一写ニ二匁を
半ニ半ニ三匁中ニ二匁中不迄板木不
長ハ永同字之起不既
汝一もと一レヤガ一立者之
靡一立一極一聲一立たかひくノ至
穀ニ立木ニセウ廢乎非極
接る字四字てわかつて夢人
纏一名の纏一章一巻一立啜々而入
渴一名の渴一渴あく夢之立
生乞ニ四、弓、ノ唐ふかく、立木不
雍乞ニ二立雍のゆみ一おも
泪立木立木面うらて立木立木
目泣ニ立地元ニ不既

被の病五時水立乞月

湯木立木の月ニ二立木立木
目泣ニ立地元ニ不既

麦ニタニ字トモトリ

れ面ウスノニカタニテ

カクニタニモヨリハ四キシトタタタ

小カクシトカクシタタニ

体メ字ナリテハ故のよてセニ非

アケビトニニカタニタタニ

アシタタタタタタハ不姪

タタリタタタタタタタタタタ

陣モリカタタタタタタタ

カタヒトタタタタタタタ

右日一カタタタタタタタ

写タタタタタタタタタタ

写タタタタタタタタタタ

中字タタタタタタタタタタ

中字タタタタタタタタタタ

中字タタタタタタタタタタ

波字去

衣の波波波非水波

波松波波波水

浪花一寺江はん木の角一浪二不

波波波非水

並字去並去并去

主字去主去主去

主のぬニアラビニモニ不姪

アラキアラキイケルニアラキニ

アレヌミニアラキホ不姪

アラツアラツアラツアラツアラ

歌字去歌字去

行字去行字去

蘭一
ゆづる一
わくさ
一
きの蘭
お一
わく
蘭
首
ニ
白

○菊首十八書物の身紙之
○白樂天が宦途の際之

蘭首花時錦帳下
盧山雨夜草庵中

輪廻一死物一似鬼一乃輪色而
病癥一急病疾一非立
亂世一社亂一乃物之鬼、而
し元一非水也、

舌打來也。ノイセキ

△ しらめいにあくろもとを云
後、國へ上、紫のてまえ立ト至

後 = あし
り = め
お = お = 二 = う = ち

らき 一ちを らく = 一ち 被の字

廊 一トボツ一カ

相手アリハシタ
即ちアリマサニ

樂一夕之極乃
雅莫一夕不曉

蝶鑑第一卷

羅漢 ウスモノ

田異一力之至

麻呂一カラタニ庄太

眞水掌

卷之三

۱۰

株 一音 一わ 三ニ株 四株 雪
玄冥 一ゆき 夜 一ちよこ
夜 一れ母子彈 一玄冥 一わ
夜 二スミテウ 一玄冥 一わ
夜 布世界 一大 一松柴 二わ
冥の下 一玄冥 一名の玄 三ニわ 守宮 一わ
妄想 一異夢 一わむく夢 一ひもく
梅 一ゑく音 三ニゑく名 一まとく

皆元にてれをもあわす
まのゆれりかのまの

梅天梅雨多而梅子
梅金就之非梅皆梅而

一羣人各一食也。一乃
麥鶴麥弓也。

茶也。茶皆夏之新麥，夏

た麦の麦わら 麦の元
麦吸 麦功 麦せ葉 雜之

一君家一至際色二乃去

卷之四

卷之二十一

村二名山二村の字ハ字をノ
群ニシテ叢ニニトキモ
松村立木の枝立キセラモ
延ニ名余ニ法ニ九法吉福の延

おりまく簾古ちを纏ニカタ
室ノひうて四室の戸四室の巻ホ
しおのとやセハ非室早苗モ
後室一菴室一り花室一室君

室の八時一ト中國の名所之

室ニ三夕傳ニ西八面

簾一非立簾入簾古も簾簾古
のれハ五之

簾一立古も外のサルニニラムヘ

小娘一非立ミ懸ニ七夕

生一生れニ一朝夕ニいきるニ死ルニ二方

をよニかニ金ドニ不候

昔ニいみニ西あらそく云延ニ二夕

うきまニ不候

前四時ニ二夕トニウニ不候

馬ニ約ニ三ニ約ニね去ニ

。舟代かご車轡ありをあわ^レ御^ス走

。意るほの約木る経る
下る落る麻毛^{シロ}約毛

けれ皆而^テ△午ニ約ニ西

。ふ士^{シテ}譚約^{シテ}陽^{シテ}う傷^{シテ}ある

。ふ西^{シテ}る根^{シテ}繩^{シテ}は^{シテ}障泥^{シテ}鶴

。輪^{シテ}院^{シテ}歎^{シテ}唐^{シテ}は^{シテ}幕^{シテ}約

扇^{シテ}の^{シテ}三味^{シテ}豫^{シテ}約^{シテ}けれ^{シテ}非^{シテ}生^{シテ}

。ふ約^{シテ}七夕^{シテ}繩^{シテ}名^{シテ}あれ^{シテ}と^{シテ}

。隔^{シテ}る約^{シテ}七夕^{シテ}と^{シテ}

。乞^{シテ}ぐう^{シテ}拂^{シテ}お^{シテ}る約^{シテ}不^{シテ}

虫^{シテ}名^{シテ}二名の虫^{シテ}秋^{シテ}金龜^{シテ}約^{シテ}

。難^{シテ}の虫^{シテ}季^{シテ}の虫^{シテ}年^{シテ}三夕^{シテ}

秋^{シテ}の虫^{シテ}秋^{シテ}の虫^{シテ}年^{シテ}

。裏^{シテ}の虫^{シテ}夏^{シテ}の虫^{シテ}四季^{シテ}草^{シテ}

向りいニシムニレバシモニ皆西
蘇四季食わニ道モ以てわらを

ソムの朴一立岐ニニタ

▲延年四

體一ウツ台一れ去

▲龜一雜

群四ひきり山ホのす

▲貉一雜

行騰一祥西

▲強保一ニヌレ一杂

菴一雜毛ニ延ニタ

▲櫛一雜宴ハ秋

菴一雜毛ハ宴寔ハ秋

▲蓀一雜蓀の霜

六八六六毛毛之

▲狹八毛トニ方

喧泪煙呑ふとて二

亨ニ音ニ和方のうニ序繫ね方

連方詠経而用歌多の歌の名而

絆再三残而小方因カ少テノ

演一小方因カ多カ而さい

トナ木西

詠一演一演小方詠系少ト

世ニ詠毛の歌小れりわざ

トニ泡ニ

トニ子一男女すと三カトモ之

トニ松一小れどもアリ

孟蘭盆一累一わゆれ翁翁一

丸茄一而毛

臺一ダイスウク四ウテナニ而毛

佐屋庵不ホウテナニ不姓

うりん一立之うづよ而毛之
うるうす一冠みおをえ後

但一のう一呪但一調伏一乃至

牛の財房主とあち

宝一洞三門一而もう

始獲多一化多とあらん報経西

言一五名ニ一言の非生一法を

裏の字一わ和名字久比次

あお雪松玉ゆうは馬とくも入

時も馬とて裏へそこの馬と入裏之

まよ地立ひく事の馬と嫁お名の

ばう郎と非生とく事の馬と人西

白馬と後も理便もさかこそ

ちのむと金と衣と黄鶴

英もと吉げら皆と名へ

鷦一枝廊と松と非生茶いそ

うと衣被と立ひく非生又一

あひふひいゆきわとまと鷦も

鷦一歌きと鷦ハ妻と夫と之水ゆ

若川妻と夫と夫はも又と人

鷦宿と尾と身と腰と水とと鷦と

そぞれ鷦ハ歌とくのかと

免一の免一

佐吉の沙印と之佐吉のやゑハ妻

卯の花月と妻と夫と仰坐と非月

但思と墨と歌と絵とくハ

月とめく一と歌とく

卯の花とく妻と夫と夫の夫名と

桂と二と

卯杖正月や卯と

牛一犢一牛若一村去

牛紀又とくし村去

。エトノモト去く者と消する牛

牛の不姫 桜女町のキウ

牛二不姪

魚一名鯉一歲曰鰐又名鰐八

卷之二十一

一
李
廣
之
號

只一矢外、矢子下の内、二つを
一矢外、三つを、四つを、五つを、
六つを、七つを、八つを、九つを、

東坡先生集卷之二

本二子二字發示

字公桂，萍漂，號二弓

芦ノ水

水也。本二勺，非極人。

此一夢之名の元一和名宇和
守心一夢人也之

西風名風抄

虚之元四之氣七之火八之水不既
不無更變之氣浮雲之也

一名而二做至竹字焉

うそを和田の手すみで
あや三面見見るあらぬ之非

のむ家六秋葉ノ非亡元

用可不復有不善者乎

之子也。其子曰

四へのらニ不候。候。ウ旨。ウ旨。共。アミニ。二。九
一。九。モミホの。四。ニ。一。九。ニ。七。九。モミホ

久みまニニ方腕木ニモニ三六
種也ニ葉子ニハ内ニ又も之
候、爰能て非夜

占一名の占一占士ノヤミ

ノヨリの内ニ咲五

落定、うきゆくを染毛之

羅、衣良之落也ニ百付字三

四、四叶大名之夜也ニ百字三

埋、四叶大名之夜也ニ百字三

近、近ニ二白毛之

因、一妻之並並んハ秋之麻ニニ白毛

軍記園、聖和名字和波

白、魔碓、皆内ニ之春、雪之

少、少めのうす雪毛月字三

源、源、母ニ一立ニ之音ニヘウキン

わく、わくニ立とくハ七白月ニニ方

怖、一弟ニ不姫、恨ニニタ

恨、只ニ意ニニ之忘のかろ、意の恨

七句去一方うくれハニ毛毛之

愁、本居、意傷意ホの内ニテニ之

後、只ニ一意ニニ之毛毛之浦山ニ不姫

浦、只ニ一意ニニ之毛毛之浦山ニ不姫

後、八之写ニセタ移鉢移香、意之

ううふうて四之移ニ豆ニ三夕豆

豆幕のううふ秋之妻の子ニ

暖ニ二う呼ニ之毛毛之浦山ニ不姫

浦、浦、浦ニ之毛毛之浦山ニ不姫

豪、字去之熙ニテモニ浦世ニ

ナハニ ひうちニタモニセテミ不候
ナ 宅ホニ 携双(玄洞)ノウラニ不候

ウラハ洞ニカラシテハモニ打ニ不候
ウラハ洞ニカラシテハモニ打ニ不候

トチハモトハ勺(トコ)トウチニ三方
トチハモトハ勺(トコ)トウチニ三方

浦(ウラフリ) 宅モニ水也
浦(ウラフリ) 宅モニ水也

嘴(ウラブリ) 久テ四之
嘴(ウラブリ) 久テ四之

義(ウラブリ) 久ニ三之
義(ウラブリ) 久ニ三之

穀(ウラブリ) 弓矢ニ西之
穀(ウラブリ) 弓矢ニ西之

物(ウラブリ) 猪(ウラブリ) 二麦(ウラブリ) 万
物(ウラブリ) 猪(ウラブリ) 二麦(ウラブリ) 万

久(ウラブリ) 三之
久(ウラブリ) 三之

阿(ウラブリ) 二失(ウラブリ) 八
阿(ウラブリ) 二失(ウラブリ) 八

部(ウラブリ) 四
部(ウラブリ) 四

内(ウラブリ) いの妙のま入る



暖(レヒ) 蔵(レヒ) 一(ウラブリ) 雪(レヒ) 人(レヒ) 居(レヒ) 二(ウラブリ)
農(レヒ) 人(レヒ) 一(ウラブリ) 農(レヒ) 一(ウラブリ) 百姓(レヒ) 一(ウラブリ) 各(レヒ) 二(ウラブリ)
野(レヒ) 衣(レヒ) 一(ウラブリ) 朝(レヒ) 一(ウラブリ) 帽(レヒ) 蝠(レヒ) の(レヒ) 之(レヒ)
鑿(レヒ) 一(ウラブリ) 穴(レヒ) 绶(レヒ) 一(ウラブリ) 穴(レヒ) 穴(レヒ) 穴(レヒ) 穴(レヒ) 穴(レヒ) 穴(レヒ)
狼(レヒ) 狞(レヒ) 一(ウラブリ) 抱(レヒ) 烟(レヒ) 五(ウラブリ) 夕(レヒ) 榛(レヒ) 夕(レヒ)
老(レヒ) 宗(レヒ) 二(ウラブリ) の(ウラブリ) と(ウラブリ) う(ウラブリ) も(ウラブリ) 二(ウラブリ) の(ウラブリ) 内(レヒ) 人(レヒ) ま(ウラブリ) 人(レヒ)
く(ウラブリ) ら(ウラブリ) 暖(レヒ) 二(ウラブリ) タモニ 宅(レヒ) 二(ウラブリ) 不(レヒ)
は(ウラブリ) 只(ウラブリ) 故(レヒ) の(ウラブリ) 法(レヒ) 二(ウラブリ) 又(ウラブリ) 音(レヒ) 二(ウラブリ) 之(レヒ)
只(ウラブリ) 变(レヒ) の(ウラブリ) 法(レヒ) 之(レヒ) 金(レヒ) の(ウラブリ) ほ(ウラブリ) と(ウラブリ) 重(レヒ)
被(ウラブリ) 之(レヒ)

朝 四居ニ庇不甘やをあひ号ホモ

甘字ニタ

朝のキト玉ウ非岸 氷柱氷水ハ非水

引のわやウ夏之

延 四之伸 亂伸ホハキニ甘字ニカ

一名の粉ニノ羽の粉立ヌ

睨 ハル一志ニノ見ニ眼ニ二勺去

暨 字去ニ 手不姫又ヒヨリニカ

牛ると匂放ウメのせ極也ニ不姫

暨 姫ハミニ茂ル夏ニ色ヘ秋ニ枯ルセ

セテ秋ニセ、シニニタセのセ秋葉ニ

セテ名古ニ非然ニ別ハ後ホ秋之

のニのぞニノ生系ニア

セ音セニタセヤ、セヒ不姫セモ非人

上ル 字ちニ光ル昇ニ双ニカ

カミカミルコノハニニカ

あ 字ちニル累秋ニルち、め冰
。めルルハタカセ季ニミジニ
。秋花美、め茎、め枝ハ夏ニ非夜

。め葉、秋ニ但、めハ冬ニ日ユ

。味ち、味ち、とのめ又君のめあを
のミ びて小セニカニカニ角リニニ

一夏、親ニカ

計、一悪口ニニカ

拭、四和石、乃古比

除、八名、系ニカ

ハのミニカ

木 をの初のまよ入る

國 楠 一 吉 旺 の 名 下 之 国 楠 山 一

重編集 一ノ本ノ
天皇御帝一朝火奉りシハ五面の公

化相の人といひて
一
ナ
ト
ト
ト
ト

一沛國一沐天之行去
一苦勞一乃去今之而生

若者学まつて
足取を一わからず

足の主うる本はばく
もの字ニテウ非生

「ハコリ
一絵ニ
おま
タクム三勺夫人

大ニカヒニユカヒニ
一ノ二トクニニトクニ

重、二名不のが重一、秋津重一のねま

二十九訓音のう雲

の二州モ豈
かの名とく都既
東の名と名ふと又都既
付字ニシタ

「名め光一除^{ヌリコメ}ノ^{ハシ}一亦^ニ是^{ハシ}也^ニ

七言律詩
金匱小回甘字
一勦掛一弓三七夕
東八雲

一銜虫 一秋之 和名久那和

近々の志ハアシ
一串柳ホニカ串の事ハヌニ

一冬の積一括専用紙拂ふので
る様貌取れり此處之防候事

車二法一水車一之也之水也八萬

輦車ハ東ニ西キニ三五廿字

○火車 羊 康牛車ハ法の車ニ
○代ハ車ニ動力車ニガシ小セウ皆ニ家系

元文式
二九
右之左の筋は、かせわへ又匂うるゝ力を失ふべ
皆一筋の沓一沓足筋、沓筋本の内ニ

齐の皆冠う祀杏冠うの内ニ又至

牛の音一九三〇年六月二日

支那茶葉出外
第一回

御の所を守る事無

掌一管也。一德也。一物也。一物也。一物也。

西杓木杓家共一榦也之

物事久々也ハ乞と爲ておれ

萬文以下の金を
あらわす。家老の
萬文以下を

○ ○
大考才思の事はあらざる事、三日

○第之復考異之共非鄭之

大考も四人うち
季の考年の結果

考去國考之零父官才二月
多一月也。可公不應

物の事に
外の事に
内に外に
外に内に

時キタルニモ思即ニセラヌニ

玄氣心本性後求之勝非學
卷三十一

空一心一様也一月也二
詠の町裏ハ西之裏三二勺

經之元之五經之說之經

葛施如二食也一衣於三之

葛水道のむかえも裏船へ
危一歩のひへ暮し氣色二今一人

索祖人付字八三為和名久懷

材うちの杖は乞ひ物なり。之を
素の門達様へ 素の子 まこと

か桃一聲のくも足か桃の内三

新ノタモク又木ミカハ秋入

栗一秋之 摺栗一新之 枝三

栗毛栗色ホニ付字三カ

葉一音ニ一ノ葉五ノ一葉盤ホニ一ノ

ばかりと口景と云詞が今

葉子美ノ葉日葉玉葉紅ホ葉之

葉塘秋ノ葉喰キ葉師ハ西

嚙四ノリノ生紅ニ西小セヤニニ而

口ふす嚙わ時ハモ李モね下

嚙四ノリノ生紅ニ西小セヤニニ而

口人の口四ノ唇西ノ角の口ハ字を之

吸嚙飲ホタラク不付茶の品也

口吸口ひ粉口後口舌茎口木意之

嚙一ノリニ一ノグロビスわべー

嚙舞非生人わゑ付字西

相ノ氣ニ一立ニ生紅ニ一矩の上ニ

意れ支れ男相女相西相本意之

友位非人傍皮も同お人傍も

ヒド益代のワヒテ様ス

嚙二ノ競る非外加成の競るハ楚裏

海月一水母ト又モヅシ打

くモハ一暮ノ

くもかじきの花 正花春之

一歎歌一ノ

秋降ト又一立ノ字矣之廢ハ四ノ

窟ニウノムヒニノ付字ニモ

括ニウモ一枝ニ中ノモ又モ

吳 二勺去ノ源よりれてさきられて

ホ之 吳ノハニ音の字ニ二勺

雲 字去ノ音ヒ又曰云聲也

雲の峯 裏非山

宍井の庭 呂ニ三勺 井ニ不既 非宍

宍井宍の里ホハ大凶と見と二五

孟之勺ニトテトトノアノ 宛ニ二勺

雲の林 名西ノ非極

雲ノ入多美之

雲之入多美之極也之又ニ二勺

糸 宇去ノ経ニ倅云ニタニ 糸川ニ不既

叢 種也之誠既 糸ニ封ニ二勺

糸のう糸 や糸 異糸 素糸

糸筋 古糸 以ラミ 素育ニ裏

糸の毛 秋之 素枯空 素曉既

牧童 ノテカリ 糸ニ二勺刈ニ至極也 織既

糸と川 糸ニ川ニ極也式ニ既

糸の戸 糸の房 糸ニ房 非極述ニ

呂居西ノリ 糸多キ居誠既非極

糸庭 極也ノ 異とすれハ希少ノ

糸の庭 異と庭也内方ハ非族

糸の枕 非極 糸と枕ハ極也

共ニ 異少ノ共ニ 異ニ 蔷

朱 字去ノ 無也一山既

然 一年皮ホ又ニ 番ニ

川ニ月ニ淮ニ 哺乳

食ニ洞ニ二 位

操 位ニ 痘ニ

潛 二生既ニ二

四 戸ニ又ニ 二虎

四付字ニ二 玄 くえニ之崩ニ西

嵐 云うて 四

公事 非人傳

花瓶 正ひ之

城 ふて 四

加四
紀八
山廬

夕日やまくら

黒 四 喜ニ四訓 喜ウリ) 西

。玉本丸きと若朱紙 玉本紫

。昭和の彦もくろの彦とも

。焼物のひな生地をう應之彦

。嵐太児 馬ニニ白坊ニ不照

。支那の西南ニ佳夷之水ノ首卑入

。黒キ君仙燒源君之水ノ首仙姫

。儀儀一せあ想名之 儀儀作一わ

。儀儀作ハ持サの形と本偶儀之

。各今ハ非立

被取亭

草薙の坂 緋絨 紅ニ三白又カニ二方

。あざうかひニおつづぎニガ



